

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立大浦小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒920-0205
金沢市大浦町又87番地

E-mail _____

Website _____

児童生徒数 男子 242名 女子 243名 合計 485名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

3年生「伝統を学ぶ」

3年生では、金沢の伝統について学ぶために和菓子と、獅子舞、加賀鳶に目を向けた。和菓子については、木型や種類など、グループでテーマを決めて調べ、互いに発表し合った。和菓子工場の見学を経て、実際に和菓子作りを体験した。その後、百万石祭り等で獅子舞が演じられ続けているその理由について考え、歴史や演じ方の特徴について調べた。大浦地区の伝統行事である、加賀鳶についても同様に調べた。獅子舞保存会、加賀鳶保存会の方をゲストティーチャーとしてお招きし、実際に獅子舞に触れてみることで、実感を伴った学習ができたようだ。



4年生「金沢の偉人に学ぶ」

4年生では、金沢の偉人について調べ、業績をまとめた。金沢の偉人の中で、知っている偉人の名前をあげ、木村栄（天文学者）、高峰譲吉（化学者）、鈴木大拙（仏教学者）や泉鏡花、徳田秋聲、室生犀星（金沢の三文豪）など、自分が詳しく調べたい偉人についてパソコンや本などを使って調べた。その後、一人一人パンフレットにまとめ、その偉人の業績をふるさと偉人館に掲示していただいた。偉人館を訪れる多くの人にその業績を知ってもらおうという目的意識をもちながら丁寧にパンフレットにまとめる様子が見られた。



5年生「わたしたちの食文化について考えよう」

5年生では、日本人にとって欠かせない米に目を向け、米の歴史や種類、機械化してきた背景について調べ学習を行った。そして、地域の方をゲストティーチャーとしてお迎えし、古代米作りを行った。田植えから稲刈りまでを実際に体験し、日頃口にしているものがいかに大変な作業を経て作られているのかを学んだ。夏休みには、地域の方が水の管理や稲のお世話をしてくださり、人とのつながりの温かさを感じることもできた。地域の方の支えと自分たちの頑張りがつまったお米は、学年活動でおにぎりにして食べた。その後、金沢独自の野菜である加賀野菜へと目を向け、加賀野菜の歴史や旬の時期、食べ方について調べた。調べる中で、後継者不足という悩みがあることを知り、加賀野菜を広めるために、五郎島金時を育てた。「フェスタ大浦」というPTA行事で五郎島金時を販売し、地域の人や友達、保護者に広めた。米、加賀野菜ともに、調べるだけではなく実際に育てたり、食べたりすることで、食文化についてよりじっくり考える好機となり、その食文化を守っていくために自分には何ができるかをじっくりと考えることができた。



6年生「本物から学ぶ」

6年生では様々な分野で活躍する方をゲストティーチャーとしてお招きし、職業の内容について語っていただいた。アナウンサーや新聞記者、スポーツ選手（車いすサッカー選手、元プロ野球選手 など）、地質調査をする方、演奏家、などである。職業内容について教えていただき、将来自分が就く仕事について考えたり、お話を聞く中で「継続は力なり」、「努力は裏切らない」、「嘘はつかない」など、生き方につながる大事な言葉を聞くことができたりして、自分と向き合うよい時間となったようだ。自分に照らし合わせて、自分の夢や生き方について考える機会になった。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ _____ ）